

神戸市に「新本社工場」着工 (2022年5月竣工予定) 直動機器生産増強に加え、ロボットシステム製品にも注力

ハイウィン株式会社は2021年5月31日、「新本社工場」の起工式を執り行いました。新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から参加者を限定し、当社の他、工事関係者が参加し、工事の安全を祈願しました。2022年5月の完成を予定しております。

当社では、急激に加速する市場環境の変化やお客様ニーズの多様性に対応するため、変革する製造産業を常に支える企業として2019年より「次世代ものづくりを支える」をスローガンに掲げ、その実現に向けて国内体制の再編を進めております。この取り組みの一環として、お客様のニーズにより細やかに対応するために国内での製造体制を強化いたします。自動化機器等のユニット製品、座標ロボット、産業用ロボットなど、製造品目を増やし、かつリニアガイドウェイやボールねじなどの直動機器の生産能力増強も行います。



新工場 完成イメージ

< 起工式の様子 >



新本社工場は総投資額100億円を予定しており、延床面積約14,500㎡、一部3階建て、総敷地面積約24,650㎡、神戸市のサイエンスパーク内に位置しています。BCP（事業継続計画）を考慮し、震度7でも継続運用が可能な耐震基準で設計されています。床の耐荷重と厚さを通常の倍以上、建物本体の構造とは独立させ揺れによる影響の抑制を図り、精密部品を取扱う万全の体制を整えております。また、ショールームもご用意しお客様と当社の新たな接点となる施設を目指しています。

新工場着工に際し、当社グローバル本社総裁、卓永財は「新工場が稼働することで年間300億円以上のサービスが提供でき、日本国内の製造産業のさらなる発展に貢献する体制が整う。日本に基盤を持つことに大きな意味がある」と述べています。また、同会長、卓文恒は「当社は世界的に半導体前工程製造装置メーカーのトップサプライヤーとして座標ロボットの着実な実績を上げてきた。将来、日本の半導体業界にも貢献できると確信している。短納期、少量多品種という市場のニーズに応えるだけでなく、さまざまな業界のお客様にトータルソリューションを提供し、お客様がより高い付加価値を創造する助力に努めたい」と決意を新たにしました。今後も継続的な投資を続けることでお客様と共に成長できると考えています。

当社グローバル本社は1989年の創業以来、自社ブランド「HIWIN」でグローバル展開し、日本では20年に渡りビジネス展開してきました。日本での新工場稼働により、当社製品の供給体制のさらなる向上と、お客様の需要に十分お応えできる体制構築の推進に努めてまいります。

■ 建設計画の概要

< 工事概要 >

名称	新本社工場（仮称）
所在地	神戸市西区井吹台東町7丁目4番4 サイエンスパーク内
施工主	大林組
竣工	2022年5月
総工費	約100億円

< 建築概要 >

構造	鉄骨造
階数	一部地上3階
敷地面積	約24,650㎡
延床面積	約14,500㎡
主な製造製品	・ ボールねじ、リニアガイドウェイ、単軸ロボット（二次加工） ・ 自動化機器等のユニット製品、座標ロボット、産業用ロボット

■ 会社概要

ハイウィン株式会社

代表取締役 楊 豊銘

〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通4-2-20 三宮中央ビル3階

設立：1999年11月

資本金：440,000,000円

事業内容：直動製品、メカトロ製品、各種産業用ロボットなどの製造、販売、メンテナンス

■ お問い合わせ

マーケティング企画課

Tel: 042-358-4501 E-mail: kikaku@hiwin.co.jp